

あおえネットワーク

岡山赤十字病院 患者サポートセンター

8

2026



講演会のご案内

※詳細は同封のポスターをご参照ください

※会場参加の際は、感染症予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします

日時・会場	名 称	演題・演者等
令和8年10月1日(木) 18:00~20:00 おかやま未来ホール (イオンモール岡山5F) ※現地開催のみ	第13回 世界アルツ ハイマーデー 記念講演会 in岡山 *岡山市認知症 疾患医療セン ター主催	テーマ『認知症の人のこころ』 第1部 講演1【老いところの変化 年を重ねることを心理学から考える】 慈圭病院 名誉副院長 石津 秀樹氏 講演2【認知症の人の心理】 慈圭病院 岡山県認知症疾患医療センター長 寺田 整司氏 講演3【あなたの想い、伝えていますか？ ～認知症と治療方針決定の現実～】 岡山赤十字病院 医療社会事業部 資料社会事業課長 宗好 祐子 講演4【広がる、広げる「緩和ケア」 ～いつでも、どこでも、だれにでも～】 岡山赤十字病院 緩和ケア科部長 喜多嶋 拓士 第2部 パネルディスカッション 座長：岡山赤十字病院 岡山市認知症疾患医療センター長 精神神経科顧問 中島 誠 *当院は岡山市より「岡山市認知症疾患医療センター」の運営を委託されています

がんサロン開催のお知らせ

日時：9月8日(火) 10:00~11:00

場所：岡山赤十字病院 南館2階 会議室1

対象：がん患者さんとそのご家族

(入院中、通院中の方どなたでも参加できます)

8月のがんサロンは
お休みです

2. 座談会
(内容は問いません)

1. ミニレクチャー

『がん治療中の食事について』

講師：当院管理栄養士 東 直美

ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として
地域医療連携課までお寄せください。

TEL/086-235-8555 FAX/086-235-8556

QRコードからも入力できます
ぜひご活用ください!



院内Topics ニュース&報告

第97回 岡山赤十字病院病診連携研修会

大輪のヒマワリを背景にした澆漣とした案内状をご覧になった方もいらっしゃると思う。2026年7月1日は、梅雨前線の活発化に加えダブル台風発生が重なり、一日中さえない雨模様。今回から開始を30分早め、1時間の構成とし、19時から20時の開催となったが、エーザイ株式会社共催のもと、足元の悪い中、現地とWeb配信を合わせて60余名にご参加いただいた。

薬疹診療の舞台裏として、まず皮膚科医の視点から抗生剤による汎発性固定薬疹への対応を示し病理組織診断の重要性や薬剤師介入のパッチテストの準備の実際、内科・病理診断科・薬剤部・地域医療機関との連携が診療の質を左右することを報告した。看護師からは新規抗がん剤に伴う皮膚障害について急性期から回復期まで一貫して求められるスキンケアの重要性、患者の苦痛軽減に直結するポイントについて具体的な示スキンケアの工夫を共有した。続いて、重症薬疹診療拠点病院としての役割、抗がん剤や血糖降下薬など新薬の普及による薬疹の多彩化、診断と治療を同時に進めるための多職種・地域医療機関との連携を、実際の症例を通して提示した。中毒性表皮壊死症のような重症例でも被疑薬が特定できずウイルス感染が背景となる場合があり、また長年続く皮膚症状が



実は薬疹で、被疑薬を中止することで劇的に改善する場合もある。地域全体で薬疹診療を底上げするための情報共有を行った。こうした多職種の連携の積み重ねが、地域で患者を守る力となり、希望につながることを願っている。悪天候にもかかわらず集ってくださった皆さまに深く感謝したい。

皮膚科 横山恵美

令和8年度 岡山赤十字看護専門学校宣誓式

ナイチンゲールの精神を受け継ぎ、看護職としての自覚と責任を新たにする77回生の宣誓式が執り行われました。3年生の藤原千紘さんが、ナイチンゲール像にろうそくの火を灯した後、25名は1人一人その「看護の灯」を受け継ぎました。そして、25名全員で「赤十字の人道の精神に基づき、一人一人の望む生き方を支えられる看護師として、自覚と強い信念を持ち、向上心を持って学び続ける」と誓いの言葉を述べました。

そして、学校長から「これから始まる臨地実習では困難や不安に直面することがあるが、一人で抱え込まず、相手の痛みに寄り添う『想像力』と赤十字の精神を体現する『献身の心』をもって患者さん一人ひとりに寄り添う看護を実践してほしい」と

と激励の言葉が送られました。

コロナ禍以降、式典を縮小していましたが、多くの参列者に見守られる中、これから歩む看護の道に向けて決意を新たにしました。

看護学校 高橋佐和子

